

第二十三回 平安神宮古武道奉納演武大会

至誠館 渡邊 佳代子

すがすがしい秋晴れのもと、今年も平安神宮古武道奉納演武大会が開催されました。

この度、初めて管理運営委員会をお手伝いするご縁を頂きました。管理運営委員の任務は、大会が円滑かつ安全に開催されるよう大会委員、実行委員、進行委員の補佐として主に演武会場となる額殿ならびに額殿周辺の移動警備です。

武具の取り扱いには危険が伴うため、一般見学者や参拝者の多い境内では、指定の場所以外での練習を禁止しています。また、演武者の肖像権やプライバシーの権利侵害の観点から、演武される団体の関係者以外の撮影を禁止しています。

今大会は、事故の報告も無く、また「撮影禁止」の看板を掲げた結果、一般見学者の撮影する姿はほとんど見受けられませんでした。

進行では、随時、演武控えに二団体が待機するよう誘導し、大会は予定の時間どおりに進行し、終了いたしました。

遙々遠方から参加される先生方は、年に数回しかない他の道場の交流を楽しみにしている事と思います。私も今まで怪我する事なく、楽しく大会に参加させて頂きました。それは武道執行専門委員の先生方

が、検証委員として常に演武者の安全を見守る時間を作って下さっているお蔭であった事を改めて認識させられました。お天気は良かったものの検証員席は日陰で風が吹き抜け非常に寒く、検証中はコートを着ることもなく寒さに耐えながら見守って下さいました。中には、検証の控え席に来られない先生に変わって控え席に二名分の三十分座り、そのまま検証席で十五分と長時間に渡り座って下さった先生もいらっしゃいました。武道に対する姿勢である。と勉強させていただきました。

このたび、管理運営委員会をさせて頂きました事で、この大会が参加者全員によって支えあい、作られている事を知りました。これからは、一つ一つの大会に自分も作っている一員である。と認識しながら参加させて頂きます。ありがとうございました。

